

通常枠

業種転換型



ポリネコ!

データ・ファクトに基づく相互理解と合意形成を実現する
コミュニケーション・調査サービス『ポリネコ!』の事業化計画



株式会社ハンマーバード
東京都品川区荏原6-2-5
代表 岩田崇 (takashi@hammerbird.jp)



2021年12月

補助事業の概要

要件		該当する根拠
類型	業種転換	「企画開発、コンサル」（学術研究、専門・技術サービス業）と「データとファクトに基づくコミュニケーション調査サービス」（情報通信業）は、日本標準産業分類の大分類ベースで異なる分類がされている。主な業種を変更するため「業種転換」に該当する。
製品等の 新規性	過去の製造等の実績がないこと	これまでは、企画、コンサルテーションを本業としていたが、これからは、データやファクトを回答者が学習しながら他の回答者と相互に意思表示できる特許に基づく調査システムによるコミュニケーション調査サービスを提供するため、要件を満たす。
	製造等に用いる主要な設備を変更すること	企画、コンサルには特別なシステムは不要であったが、地域や社会の課題解決にはデータやファクトに基づく意思表示を相互に行えるシステムが必要となるため、要件を満たす。新たなに開発するシステムは（p**）を参照。
	定量的に性能又は効能が異なること	従来のコミュニケーション及び調査手法では不可能であったエビデンスに基づく意思表示（輿論調査）、政治家など立場が異なる相手と共通のデータやファクトを踏まえた相互の意思表示により、社会課題を一緒に対等な立場で解決に向け考えられるようになることから要件を満たす。
市場の 新規性	既存製品等と代替性が低いこと	国政、地域、企業などさまざまな規模の人々のコミュニティにおいて、データとファクトに基づく意思表示を相互参照し最適解、納得解を見出せる唯一のコミュニケーションであり、データやファクトなどエビデンスを踏まえた意思表示と、その意思を回答者と異なる立場（たとえば政治家など）との適合率を確認でき、継続的な対話を可能とする唯一の仕組みであるため、既存製品等とは代替性が極めて低いといえる。また、独自開発の複数の特許知財にも基づくものである。
売上高 構成比率	3-5年間の事業計画期間終了後、新たな製品の属する業種が、売上高構成比の最も高い事業となる計画を策定すること	初年度から売上構成比が最も高く、3年後にはデータとファクトに基づくコミュニケーション調査サービス」（情報通信業）で100%となる事業計画を策定しておるため、要件を満たす。

①取組み内容

現在の事業の状況

事業の状況

これまで自治体、テレビ局、新聞社からの委託業務を請け負ってきたがコロナ禍による予算縮小の中で、厳しい市場環境となっている。また中電シーティーアイスタートアッププログラムに採択されたものの途中でプログラムが放棄され、弊社の経営状況は厳しい。しかし、これまで培った行政、マスメディアでのコミュニケーションに関わる知見と独自に開発してきた特許知財をもとに、独自サービスモデルとして『ポリネコ!』を立ち上げ、提供を行うことで経営状態の改善を目指す。

事業再構築の必要性

弊社はこれまでテレビ局、新聞社における新規プロジェクトの企画開発（取り組みの一端は記事化されている-情報の送り手と受け手、ともに解探る時代に 朝日新聞）、自治体でのコンサル、コミュニケーション支援を行ってきた。（自治体での取り組みは、第11回 マニフェスト大賞 最優秀戦略コミュニケーション賞を受賞）

しかし、下記SWOT分析にも示されているように、個人ベースの業務であったため、業務拡大が困難であり、資金力に乏しくコロナ禍の影響もあり現在、当社が置かれている状況は厳しい。一方、市場機会からはSDGs、DX（デジタルトランスフォーメーション）などに対応できる新しいコミュニケーションを実現できるという他社にはない強みが弊社にはあり、業種を転換することで、大きな伸長が期待できる。すでに『ポリネコ!』の導入を来年度の査定プロセスに乗せている自治体もあり手応えも感じている。

こうした状況から事業の再構築が最重要の課題と強く認識し、本補助事業の申請に至った。

強み Strength	弱み Weakness
- これまで自治体、テレビ局、新聞社との業務で培ったメディア、コミュニケーションに関わる経験、知見及び、大学教授や各分野の有識者などとのネットワークがあること - 独自の特許である-政治家評価システム、-属性情報管理システム-学習型意識調査システム（申請中）などにより他社に模倣できず、市場機会に対応できる新しいソリューション、サービスが実現可能であること	- 資金力がないため、新規事業の立ち上げが容易ではない →今回の再構築事業への支援により克服が可能である - 実質的に個人ベースで業務を行ってきたため、業務拡大が困難 →今回の再構築事業への支援によって『ポリネコ!』のシステム開発が可能となり、個人の規模を超えた業務が可能となる。また、新たな雇用による業務拡大も可能となる
市場機会 Opportunity	脅威 Threat
- SDGsが求める「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会、政府の政策方針であるDXや、Society5.0、地方行政におけるスマートシティ、スーパーシティにおいて、新しいコミュニケーションが求められている - 今後も新しいウイルスの出現が予想され、また、社会課題が山積するなかで対面機会を極力減らしながら、誰もが参加できデータやファクトに基づく地域や社会の合意形成、国民的議論の必要性が高まっている	大資本による類似のソリューション、サービスモデルの提供（知財による保護はあるものの、規模に圧倒される場合は、脅威となる） →2022年からの事業スタートにより先行者としての優位性を確保することが最も有効な戦略となる

①取組み内容

補助事業=『ポリネコ!』の具体的内容

事業再構築（補助事業）の具体的内容

事業再構築として当社は「ポリネコ!-データ・ファクトに基づく相互理解と合意形成を実現するコミュニケーション・調査サービス」の開発に取り組む。『ポリネコ!』は、**Political Needs Coordinator** の頭文字から命名しており、暮らし関わるニーズ（=政治）の調整コミュニケーションの仕組みとして設計している。

『ポリネコ!』は、オンラインでの回答参加を通じて、誰でも、データやファクトを学びながら社会課題に意思表示し、同じ意思を持つ他の回答者（政治家も含む）と繋がれるようになることで、エビデンス（データやファクト）に基づく社会課題の解決に向けた意思形成、合意形成を実現する輿論型情報サービスである。

これまでのコンサル業務、番組制作では調査分析をレポートや番組にすることに留まります。また、意識調査をはじめとする調査では、その設問の背景を知らなくても主観や先入観で回答ができてしまいます。そのため**さまざまな立場の違いを超えて、データやファクトに基づく意思表示による協力⇌国民的議論及び、地域を挙げた議論を行うコミュニケーションが存在しない。**

この既存コミュニケーションの限界を超えるものが『ポリネコ!』である。

『ポリネコ!』は特許取得技術「政治家評価システム」、「属性情報管理システム」、及び特許申請技術「意思表示調査システム」を組み合わせて設計されており、弊社の知見と経験に基づき事業化することで、請負型ビジネスから脱却し、他社に模倣できず、付加価値の高い事業再構築の実現性が高いと判断する。

また、5年間の事業計画終了時点で、当該事業である**データ・ファクトに基づく相互理解と合意形成を実現するコミュニケーション・調査サービス**の売上が基軸となる事業計画を策定する。（業種転換に該当）

・解決すべき社会課題

- ・課題解決のための仕組み/サービス

国民と専門家と政治家が、共通のデータやファクトを踏まえて
意思表示し相互参照できる輿論プラットフォーム

- ・ 仕組み/サービスが必要とされる必然性

SDGs、Society5.0、DX、改憲、ポストコロナウイルスへの対応など、国民的議論の、誰もが参加できるコミュニケーションの実現が急務

誰もが、いつでもどこでも社会課題について知り、学び、
考え、意思表示することで国民的議論を実現する
課題解決型輿論ニュースサービス＝『ポリネコ!』
(複数の特許に基づく新
しいデジタル民主主義コミュニケーション)

①

社会の分断が進み、立場を超えた意思の疎通が困難。社会が目指す形、共通目標の確立が、できません。



社会にヴィジョンが共有されない
政治-国民間で『信頼』が育まらない

②

テレビ、新聞の
社会への影響度
は低下しており、
回答者が問われ
ている事象の背
景を知らなくて
も回答できる
世論調査が民意
となる等、社会
課題をじっくり
考える環境その
ものが、ありま
せん。



③

そこで、
現在の環境で
バラバラである
立場の異なる
人々を、それぞ
れにとって、
メリットのある
1つのコミュニ
ケーション
『ポリネコ!』に
参加できるよう
にします。



④

すると、データとファクトに基づくお互いの考えを知ることができるようになり、社会課題の解決やビジョンの確立が、可能になります。



社会にヴィジョンが共有される
政治-国民間で『信頼』が育まれる

①取組み内容

補助事業=『ポリネコ!』の具体的内容

- 『ポリネコ!』では、記事や動画を読み、視聴し（①）つつ、回答プロセス（②-④）で意思表示することができます。
- 他の回答者の回答も相互参照すること（⑥）ができ、国会や地方議会とのシンクロ率を確認すること（⑦）ができます。
- このプロセス（⑧）によって、データやファクトを踏まえた輿論による国民的議論が実現できます。（特許取得済み）
- 従来のニュースでは、記事や番組を読んだり視聴することに留まります。社会課題の解決に参画することができない技術的限界を克服することができます。
- 利用者は、政策や社会課題ごとに自分と同じ考えの政治家や支持層の状態を確認し、建設的な交流ができるようになります。
- 有料ユーザー（国民/政治家それぞれ）の定額利用料、及び官庁、政党からの社会調査としての収益を想定しています。



実在性が担保された匿名回答（性別、年代、居住エリア、回答履歴）

ステップ 1 知り 学ぶ 考える

回答を通じて、知る、学び、考える

- ・ 記事を読む、動画を視聴する



- * 社会や地域に関わる論考や、トピックスを記事や動画で紹介
- * 読んだり、視たりするなかで、上記のネコのマークを押すと、
回答参加画面に移動

* 回答参加画面

* 各画面は開発中のイメージ

特許取得の独自プロセスとは？

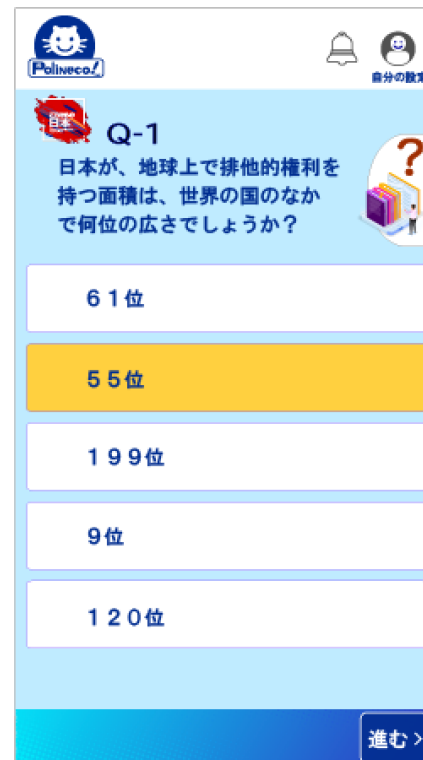
ステップ 1
知り
学ぶ
考える

回答を通じて、知る、学び、考える

⑤



⑥



⑦



・ 正解のある設問

- * 設問は「正解のある設問」と「正解のない設問」の2種類
- * 「正解のある設問」は学習プロセスを通じて、認知の把握と調整を行います
- * GIGAスクールの意味や、ウイルスの特徴（生物ではないなど）さまざまな事象の知っているつもりで知らないを解きほぐします

* 各画面は開発中のイメージ

特許取得の独自プロセスとは？

ステップ 1
知り
学ぶ
考える

回答を通じて、知る、学び、考える

自分の設定



Q-1

日本が、地球上で排他的権利を持つ面積は、世界の国のなかで何位の広さでしょうか？

199位

55位

9位

120位

61位

進む >



Poliveco



自分の数値



読者

Q-2

日本国民の所有する個人金融資産の金額は、世界で、何位の多さでしょうか？

10位

55位

37位

2位

120位

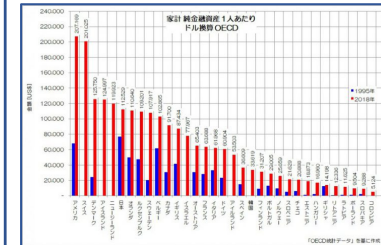
進む >



参考情報

日本の個人金融資産額は、**世界2位**です。

一人あたりでは6位



*学習プロセスを経て、「55位」ではない
選択ができるようになります。

特許取得の独自プロセスとは？

ステップ 1
知り
学ぶ
考える

回答を通じて、知る、学び、考える

Polivoco

自分の設定

Q-3
日本の名目賃金指数（お金で受け取った給料の変化）は、1990年と2019年を比較して、どのように変化しているでしょうか？

約30倍（3000%）に増えている

ほとんど変化がない

約30%程度増えている

約3%程度減少している

進む>

参考情報

名目賃金指数は、ほとんど変化していません。結果的に、先進国の中で、唯一、落ち込んでいる状態です。

青色が日本です。

出典：日本経済連合会「賃金動向調査」

Polivoco

自分の設定

Q-4
日本の会社の株主への分配は、1990年と2019年を比較して、どのように変化しているでしょうか？

約1.7倍（70%）程度増加している

約5%程度減少している

ほとんど変化がない

約4倍（400%）程度増えている

進む>

参考情報

金融ビッグバン以降、株主への分配がコーポレートガバナンスの名の下に、積極的に行われるようになっていきます。

青色が日本です。

付加価値の分配状況は？
1960年を1としたとき何倍に増えたか？

出典：法人企業統計を利用し、アライアンス・フォーラム財団公益資本主義研究部門 / 早稲田大学・スズキ研究室が作成

特許取得の独自プロセスとは？

ステップ 1
知り
学ぶ
考える

回答を通じて、知る、学び、考える

Q-5
日本の子どもの何人の一人が、相対的貧困状態（その国の文化水準、生活水準と比較して困窮し格差のある状態）に、暮らしているでしょうか？

約70人にひとり

約30人にひとり

約100人にひとり

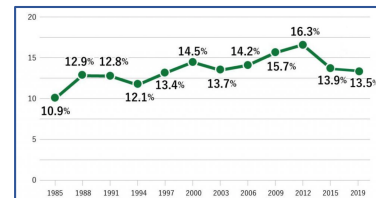
約7人にひとり

進む >

参考情報

会社員をはじめとする労働者への配分が停滞していることによって次世代を担う子供も影響を受けています。
7人に一人が相対的貧困の中で、暮らしています。

OECD加盟国の中でも最悪となっている子どもの相対的貧困率



Q-6
日本の教育への公的支出（政府や市町村などによる学が環境への支出）は、世界各国と比較して、どのような状態となっているでしょうか？

とても手厚く、家計負担が少ない

比較的手厚いが、家計負担も多い

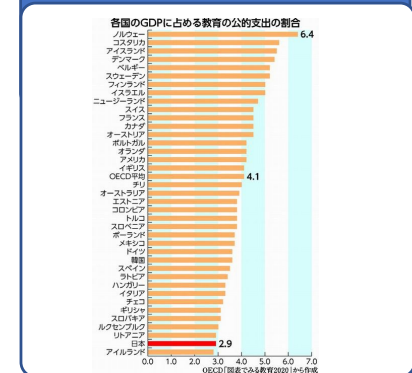
比較的手薄で、家計負担は少ない

手薄で、家計負担が多い

進む >

参考情報

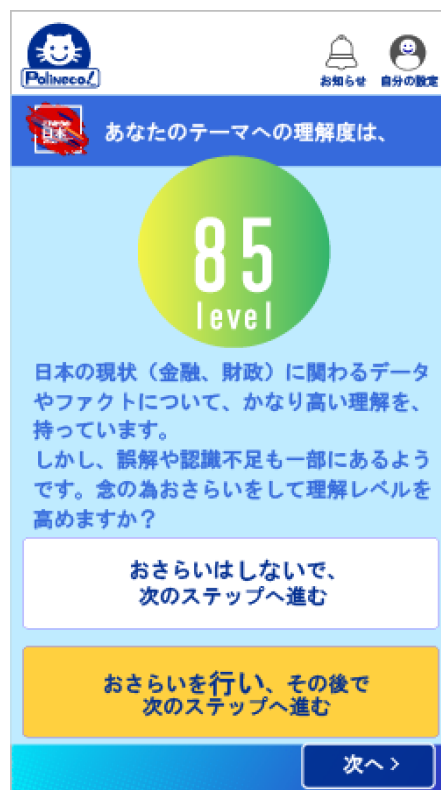
教育に関わる公的支出（額）は、OECD加盟国の中で低く、家計への負担によって賄われていますが、格差には対応できていません。



ステップ 1
知り
学ぶ
考える

回答を通じて、知る、学び、考える

⑬



- ・ 正誤に応じた再回答（おさらい）
- ・ 誤解、認知不足がどこにあるかの把握
- ・ 理解度ごとの回答者クラスター
- ・ 回答クラスターごとの回答傾向把握
- ・ 傾向に応じた追加設問の設定

* 理解度（地域や社会の課題に係る理解度）を、「正解のある設問」の正答率から表示

* おさらい機能で、理解度を高めることができます

* タイプ判定に進むには、理解度レベル60以上などの条件設定が可能

* 各画面は開発中のイメージ

ステップ 2
意思表示
する

回答を通じて、意思表示する

⑭

Polineco

お知らせ 自分の設定

Q-12

あなたは、これからの日本が、持続性や SDGs を念頭に置き、“社会運営”を行う上での経済の考え方は、どのようなものが最も望ましいと考えますか？

誰もが可能な限り（可能である一部の）、短期的に最大収益を目指す

立場を超えて全員で、長期的な最大収益を目指す

立場を超えて全員で、短期的に最大収益を目指す

誰もが可能な限り（可能である一部の）、長期的な最大収益を目指す

上記以外の考え方

決定 / 次へ>

⑮

Polineco

お知らせ 自分の設定

Q-13

あなたは、これからの日本社会において新しい価値を生み出す何かに、支援を受けられるなどの環境次第で取り組みたいと、少しでも、考えますか？

新しい何かに取り組みたいと思う

特に取り組みたくない

決定 / 次へ>

⑯

Polineco

お知らせ 自分の設定

Q-14

さっそくですが、どんなことに取り組みたいとお考えですか？
（特になければ”スキップ”を選択）

コメントを確認する

スキップ

決定 / 次へ>

* データやファクトに基づく「正解のない設問」パート

* この  マークをクリックで、補足説明を表示（サポーターはメール登録からでもOKです等）

* 各画面は開発中のイメージ

ステップ 2
意思表示
する

回答を通じて、意思表示する

⑰

Polivoco

お知らせ 自分の設定

あなたの「これからの日本」への
考えタイプは、

中長期的な視点で、
日本と世界の未来を考え
行動しようとしている

公益資本主義の日本をつくる

85 level

コメントを書く

SNS
シェア

+ ポジティブ面からの解説

- ネガティブ面からの解説

← 回答をやり直す

シンクロを確認する

⑱

Polivoco

お知らせ 自分の設定

公益資本主義マイスター

ご自身のタイプについて、そして、
「これからの日本」へのご意見やご自身が
社会に共有したい体験、提案などありま
したらお聞かせください。
特にない場合は（スキップ）で次に進み
ます。

いただいたコメントは、他の回答者の
方々にも記事やタイプごとの考えを
俯瞰する機能の画面で共有されます。

コメントを確認する

スキップ

- ・ 理解度×「考えタイプ」表示
- ・ 言葉、文章の投稿が可能

シンクロ
確認へ

- * 回答者の考えタイプを、地域や社会の課題への考え方、向き合い方を「正解のない設問」への回答に基づき表示
- * ポジティブ面、ネガティブ面の両方を示し、再回答でもできるようにします
- * 各画面は開発中のイメージ

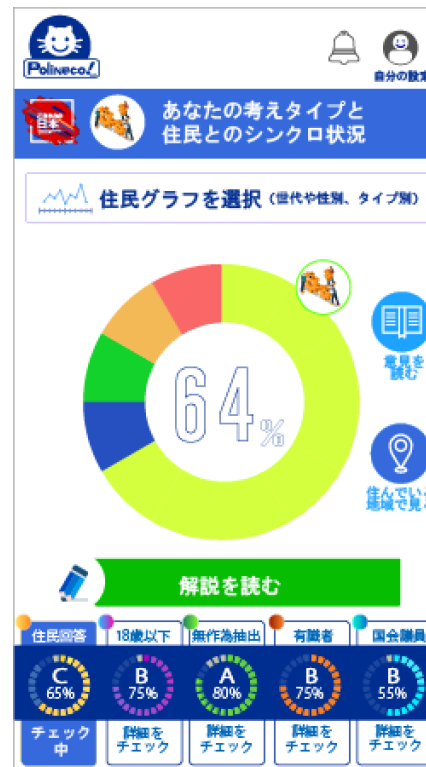
ステップ 3 つながる

他の回答者につながる

⑬



⑭



⑮



- * 自分の考えタイプと同じ考えの人が、各回答者のグループにどの位いるかをグラフで表示
- * ”詳細をチェック”から、同じ考えの人の割合、他の考えの人の割合をグラフで表示
- * グラフはリアルタイムに変化

* 各画面は開発中のイメージ

・市町村、選挙区単位など

- * 市町村単位などでの回答率のランキング表示も可能
(ゲーム的なアプローチ)

ステップ 3 つながる

他の回答者につながる

②②



* 議会とのシンクロ状況を表示

②③

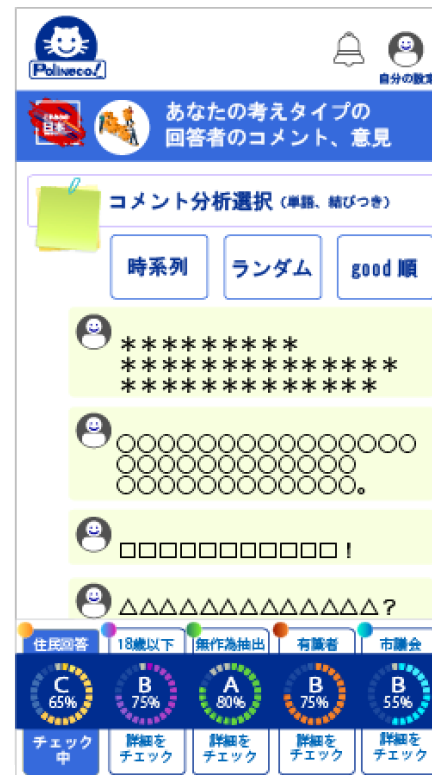


* 自分と同じ考えの議員及びその回答背景を読むことができます

* 同じ考え以外にも、自分とは異なる各考えタイプの議員や、政党、会派別の傾向、シンクロ状況を確認できます。

* 各画面は開発中のイメージ

- ・考えタイプのそれぞれのコメント、意見及びその集約分析を読むことで回答を俯瞰



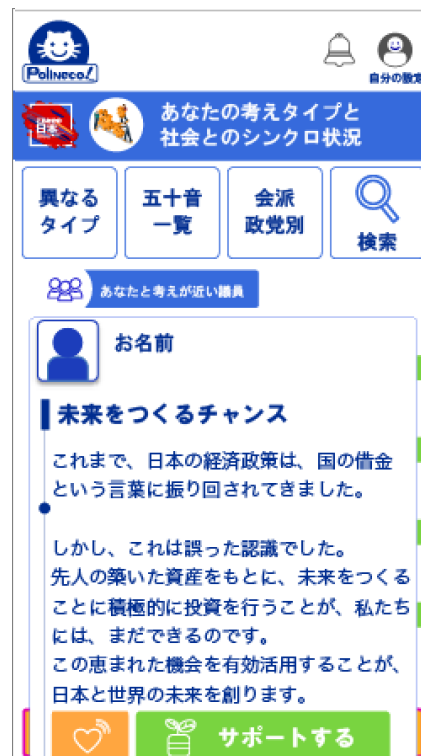
-

ステップ 5
行動する

回答を経て、行動する

(26)

(27)



- ・ 課題別に議員とつながる
- ・ コメントの投げかけなど
- ・ 読んで、サポート
- ・ 読まれ方の分析から改善へ

- * 考えタイプが同じ人とは、価値共有認知でつながっている状態になります
- * この繋がりから、議員との交流、サポートを行えるようになります
- * 議員にとっても国民（小中高生も含め）にとっても、政策ごとの信頼関係を構築することができるようになります。

* 各画面は開発中のイメージ

ステップ 5
行動する

回答を経て、行動する

調査テーマについての
意思形成、合意形成を実現



メール配信 プッシュ通知

* 回答タイプや属性
(学生のみ、子育て世帯のみなど) に
応じたメール送信

- ・ 回答サイクルの運用
- ・ 考えタイプごとに設問を配信も

* 回答は一回で終わりではありません
* 回答サイクルが動き出し、考えタイプごとの設問配信、回答収集
などを経て最適解、納得解の形成をすすめます
* 「あなたは どうしたい？」を問い続ける、ソクラテスの対話法の
現代版です。

ステップ 1
知り
学ぶ
考える

* 回答によるインセンティブを提供できます。
* また、回答参加を経て、無回答の議員への回答リクエスト、友人、知人への
招待発行を行います。
* 各画面は開発中のイメージ

特許取得の独自プロセスとは？

回答サイクルによる意思形成、成長する議論の基礎

- フィードバックのある、やりっぱなしにしないコミュニケーションサイクル
- 社会のヴィジョン構築にも対応できる継続的コミュニケーション
- 運営者（コントローラー）が明確であることによる、訂正の確実性

・『ポリネコ！』 5つのステップ



特許取得の独自プロセスとは？

タイプ判定ロジック構造

- ・ 回答を通じて意思を確認し、自分以外の人々と同じ意思を確認することが社会に「信頼/TRUST」を生みます。
- ・ 回答参加で得られた意思、意見、データをもとに、新たなコミュニケーション、政策などを効果的に講じることができるようになります。

それでは効果的な対策が
困難ですが、それでも？ そのような取り組みを
サポートしますか？

< 9つのタイプ >

- ・ トリクルダウで日本をつくる
- ・ トリクルダウを支持する
- ・ 無駄を削って日本をつくる
- ・ 無駄を削る日本を支持する
- ・ エリートが日本をつくる
- ・ エリートがつくる日本を支持する
- ・ 公益資本主義の日本をつくる
- ・ 公益資本主義の日本を支持する
- ・ 別のやり方を考える

おさらい
サイクル
で対応



再考する（戻る）

Q-12

あなたは、これからの日本が、持続性やSDGsを念頭に置き、“社会運営”を行う上での経済の考え方は、どのようなものが最も望ましいと考えますか？

誰もが可能な限り（可能である一部の）、短期的に最大収益を目指す

立場を超えて全員で、長期的な最大収益を目指す

立場を超えて全員で、短期的に最大収益を目指す

誰もが可能な限り（可能である一部の）、長期的な最大収益を目指す

上記以外の考え方

決定 / 次へ >

Q-13

あなたは、これからの日本社会において新しい価値を生み出す何かに、支援を受けられるなどの環境次第で取り組みたいと、少しでも、考えますか？

新しい何かに取り組みたいと思う

特に取り組みたくない

決定 / 次へ >

取り組むする
取り組まない

yes
no